

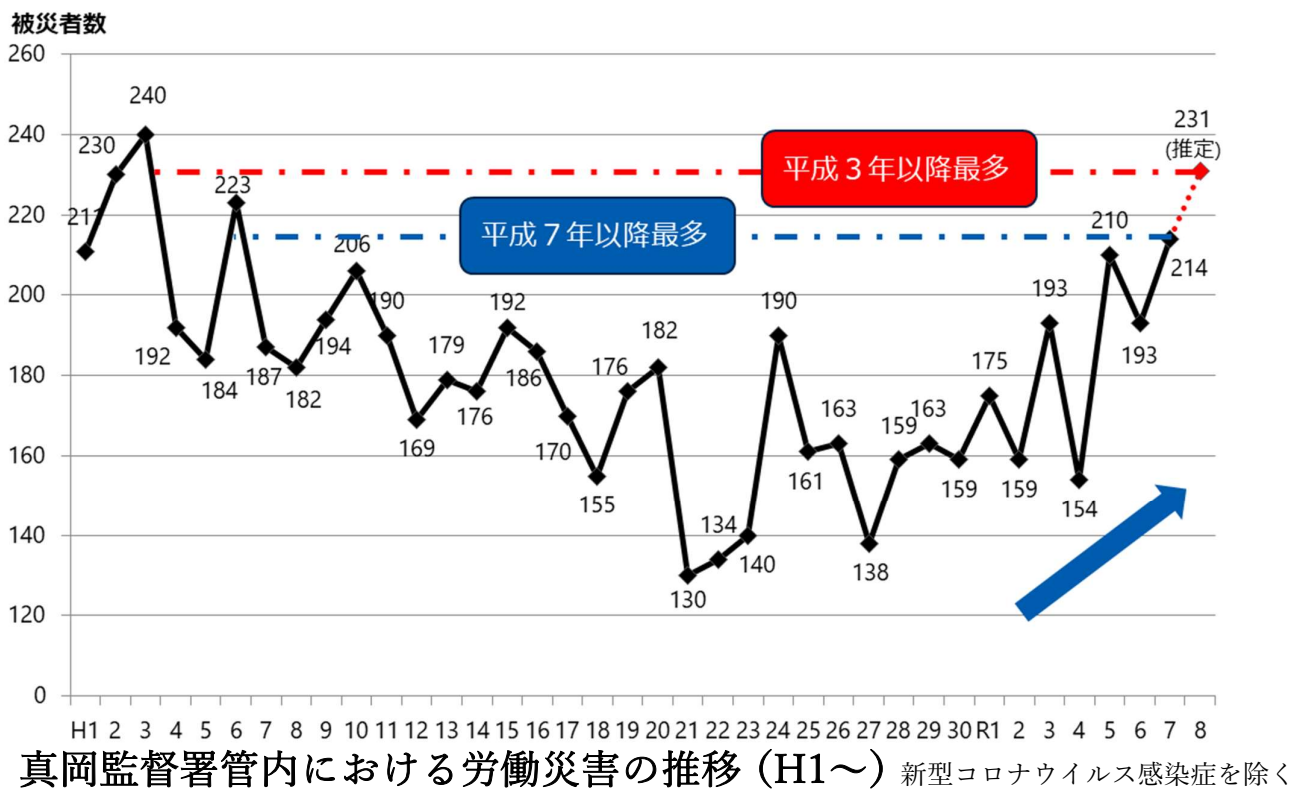
要警戒

はさまれ・巻き込まれ 災害多発！

真岡労働基準監督署管内における労働災害（休業4日以上）は昨年、平成7年以降最多となりましたが、本年も昨年を上回る状況が続いています（9月末時点前年比5.5%増）。

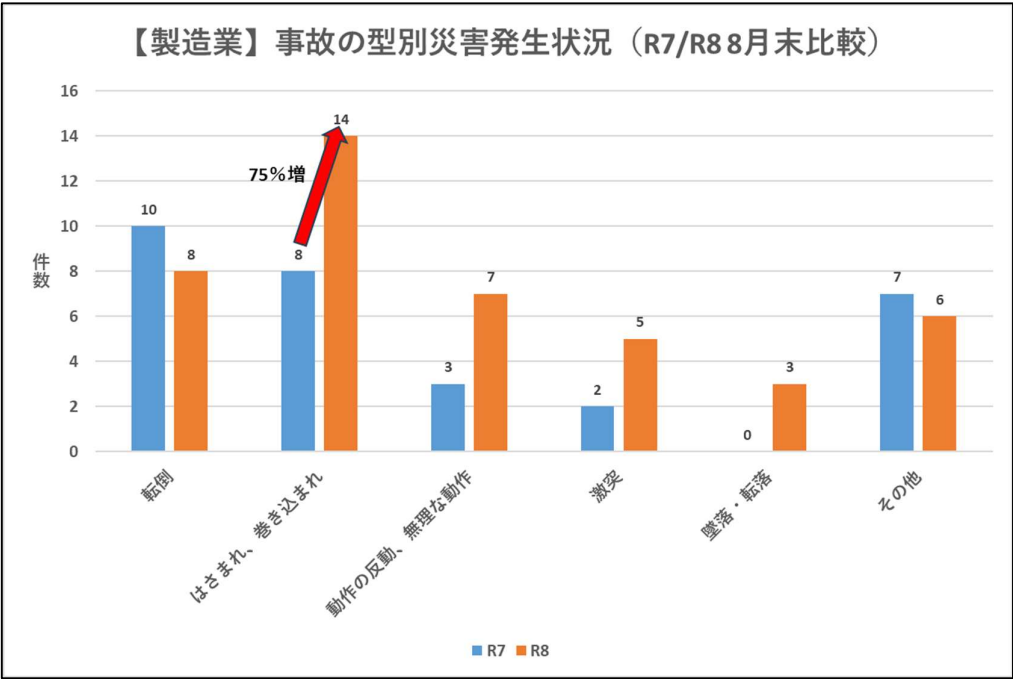
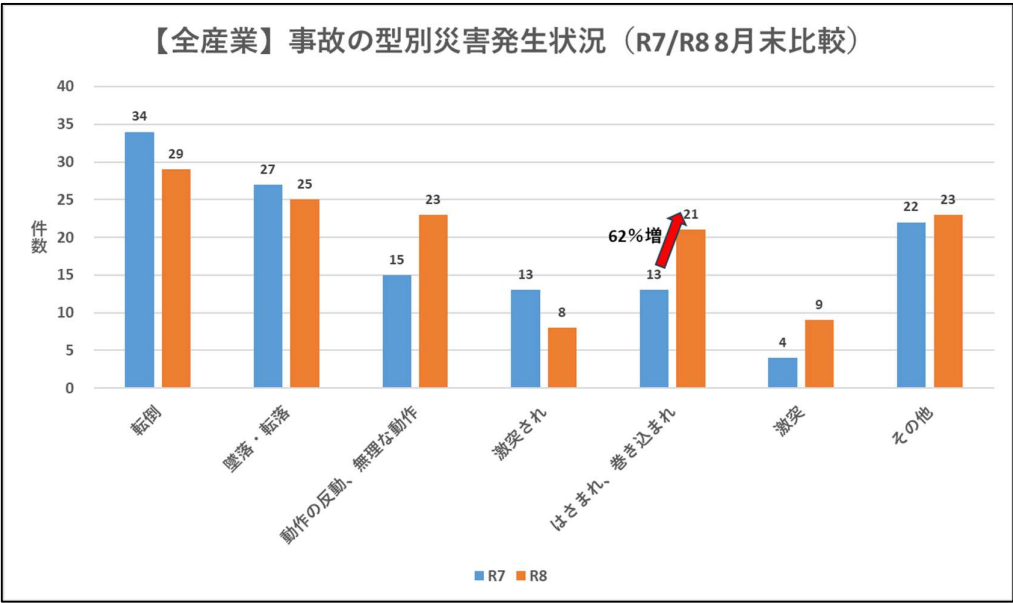
とりわけ、「はさまれ、巻き込まれ」災害が62%（製造業では実に75%）増加しており、また、若年者、未熟練労働者の災害も多くなっている状況が見られます。

再度、設備・作業方法の見直しや従業員への安全教育等の徹底をお願いします。



栃木労働局
真岡労働基準監督署





番号	管轄署	事故の型	業種・規模	災害の概要
	発生月	被災程度	年齢・経験	
1	真岡署	挟まれ・巻き込まれ	製造業	穴開け機械で作業中、エラーが発生し、通常であれば機械が自動で停止するため、残材を取り除こうとしたところ、機械が停止しておらず、材料を固定するグリップ部分に指を挟まれたもの。
	1月	21日	20代・2年	
2	真岡署	挟まれ・巻き込まれ	製造業	フレコンバックの交換作業後にフレコンバックが排出口に吸い込まれ、咄嗟に掴んだ腕ごとスクリーンコンベアに巻き込まれたもの。
	1月	2箇月	10代・5箇月	
3	真岡署	挟まれ・巻き込まれ	製造業	フィルム包装作業中にフィルムが詰まったため、つまりを取り除こうと稼働中の機械に手を伸ばし、指を挟んでしまったもの。
	2月	7日	20代・2年	
4	真岡署	挟まれ・巻き込まれ	製造業	成形機の異常処理中にプレートを固定していなかったために、自重でプレートが降りてきて、プレートとレールの間に挟まれ死亡したもの。
	3月	死亡	50代・4年	